

かとうせきかいらんぼん 可動堰回覧板

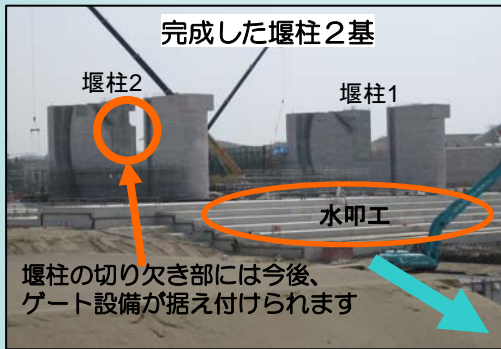
平成20年6月1日号 (No.35)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

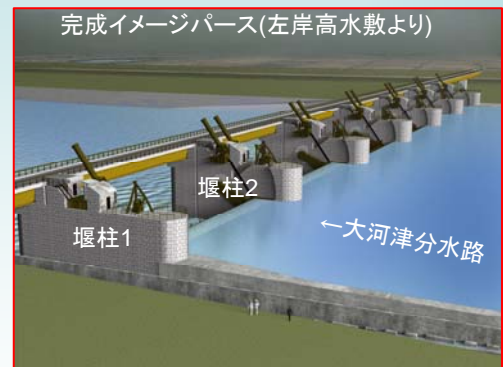
可動堰本体工事の進捗状況や、6月から始まる遺跡調査などについてお知らせします。

堰本体工事の進捗状況について

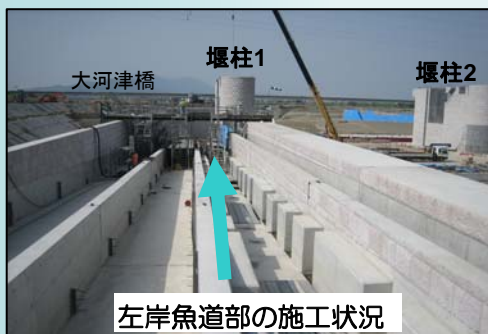
これまでもご紹介したように、可動堰の工事は台風や梅雨などの大雨による被害を避けるため、7月から9月までは工事を行わず、10月から翌年の6月までを工事期間として建設を進めています。昨年の10月から進めてきた2基の堰柱や、左岸側取付擁壁などの工事は予定どおり完成しました。現在は魚道内部の仕上げ工事や堰上下流の護床工、また今年10月以降にコンクリート打設を予定している堰柱3基の基礎杭や遮水矢板などの工事を実施しており、6月末までに完成する予定です。



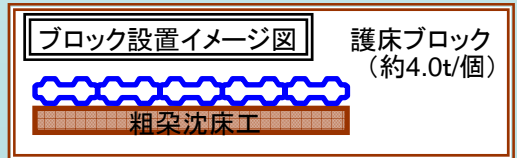
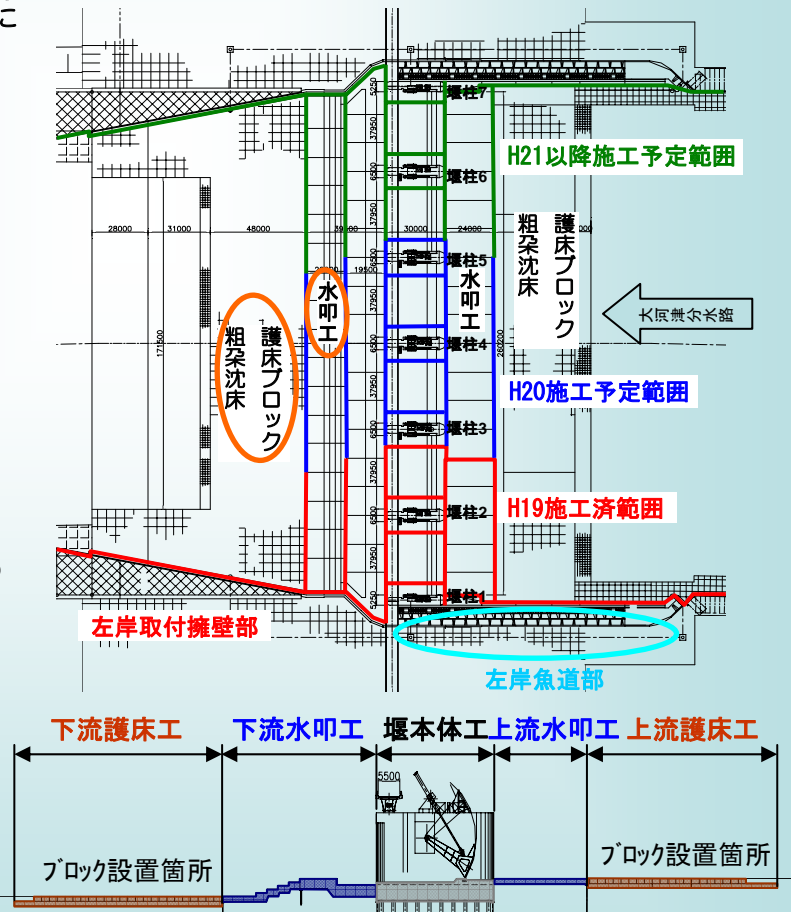
堰下流の水叩工は、下流の河床洗掘を軽減するために、高さ70cm、段数5段の階段状にしています。



堰の上下流が水の流れにより洗掘を受け、施設が倒壊しないように川底を保護するために設置するもので、この上に護床ブロックを設置します。(堰の上流側にも同様に設置します)



様々な魚類が遡上できるように、3タイプの魚道を設置します。



今年も五千石遺跡の発掘調査が始まります

大河津分水路河川敷に広がる五千石遺跡は、縄文時代(約3,000年前)から古墳時代(約1,500年前)の集落の跡です。平成18年、19年に実施した発掘調査では、当時の建物の跡と一緒に、土器や石器などのたくさんの出土品が見つかりました。今年の調査では何が見つかるのでしょうか。現地での発掘調査は今年が最後で、6月から調査を始め、可動堰改築工事と調整しながら秋までに完了する予定です。



遺構発掘状況



古代人のアクセサリ
「勾玉(まがたま)」



2人で抱えるほど大きい
須恵器(すえき)の「かめ」



古代の人々が使用していた
「鏃(やじり)」

可動堰下流の河道掘削及び蒲原用水横断通路の工事について

先月号の回覧板でもご紹介しましたが、右の写真で示す範囲で河道掘削工事を行います。工事は6月から始めて来年3月には完成する予定です。また、燕市五千石において、蒲原用水を横断する通路の工事を5月下旬から始めており、今年の秋頃には完成する予定です。工事は株式会社大石組が担当します。

平成20年3月22日撮影



現場代理人
石黒 憲章
(いしぐろ のりあき)



監理技術者
林 茂夫
(はやし しげお)

【現場担当者からのご挨拶】

越後平野の水利用・洪水防御を担う、大河津可動堰の改築事業に携わることとなり責任の重さを感じています。

地域の皆様方には、工事の施工や工事用車両の通行等でご迷惑をおかけ致しますが、『無事故・無災害』を合言葉に工事を進めてまいります。

安全第一の作業で、工事完了まで努力致しますので、ご理解とご協力の程宜しくお願いいたします。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。

0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)

大河津出張所

:大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等

建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>